

平成16年度 地方道路交付金事業のアウトカム指標 (高知県)

対象事業名 四万十川流域を中心とした住民の
定住を支援する道路整備

対象事業番号 No.3

対象事業の目的

観光等における山岳、四万十川流域、海岸地域の交流の拡大と、それぞれの地域の林産・農産・海産材の流通の円滑化を支援するため、幹線道路やそれにつながる補助幹線、毛細血管となる市町村道の改良を行うとともに、既存道路の有効利用を図るための修繕等を行う。

対象事業の目的を表現するアウトカム指標
ゆとり時間の創出

指標の定義

道路を利用する人が得られる「ゆとり時間」

ゆとり時間 = (短縮時間 × 交通量 × 乗車人数) / 恩恵人口

短縮時間: 整備による移動時間の短縮

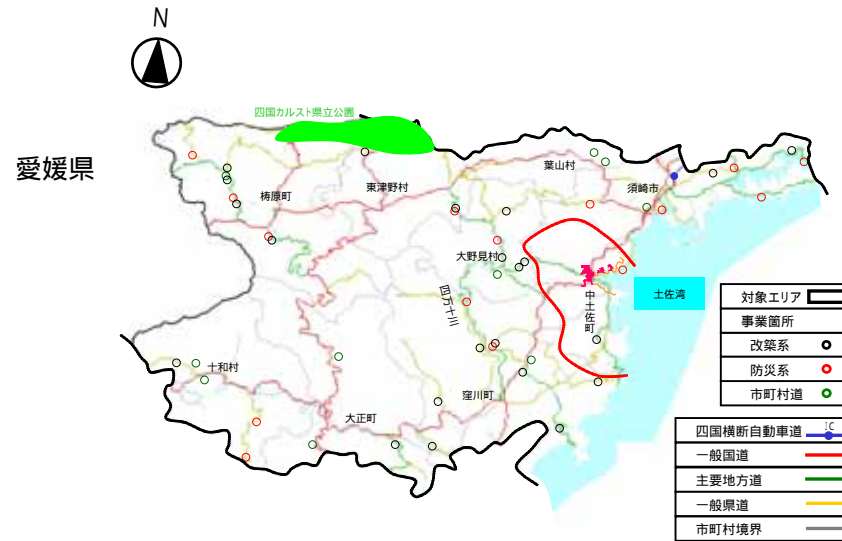
交通量: 整備区間の自動車交通量
(H11センサス)

指標の現況値、目標値(時間/年)

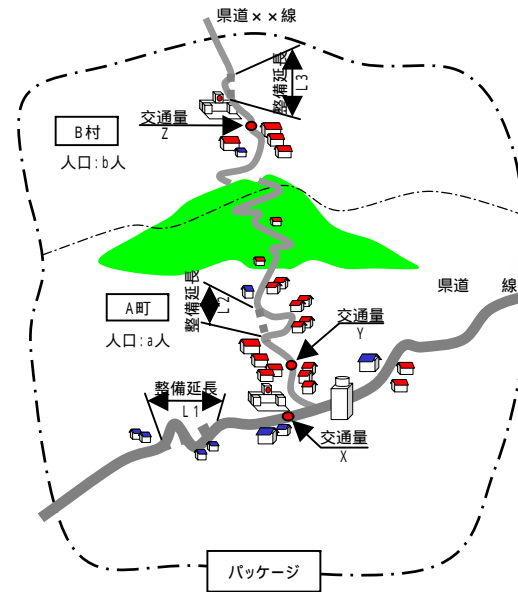
当初現況値(H16当初): 0

中間目標値(H17末): 8

長期目標値(H19末): 15



対象事業No.3の事業箇所



整備前速度 = V_a km/h
整備後速度 = V_b km/h
(整備手法により速度は異なります)

整備後の短縮時間(分)

線:
 $T_1 = L_1 / V_a - L_1 / V_b$
××線:
 $T_2 = L_2 / V_a - L_2 / V_b$
 $T_3 = L_3 / V_a - L_3 / V_b$

交通量X、Y、Zに対する恩恵人口(人/日)

A町: X_a
: Y_a
B町: Z_b

パッケージ全体のゆとり時間(時間/年)

$U = (T_1 * X_a + T_2 * Y_a + T_3 * Z_b) / (X_a + Y_a + Z_b) * 365 / 60$

恩恵人口とは、「実際に通行している車両に乗車している人口」です。(車種別の平均乗車人数により算出)

アウトカムの考え方の模式図